

ら、それら漢字語の意味を汲んで「1」で表したのであろう。さらに「2」は「영원히」の発音が「ヨンウォニ」となるので、「ニ」に含まれる「イ」が数字の「2 (이)」の発音と同じであることからきていると思われる。

もうひとつ、数字と記号、アルファベットを組み合わせたとてつもない例をあげておこう。それは、「!25=i=U」というものである。パスワードとして使えそうな文字列であるが、これは、「느낌이 오는 아이는 너뿐이다 (感じがする (ピンとくる) 子は君だけだ)」と読むのだという。感嘆符号「!」は韓国語で「느낌표」というので、「!」で「느낌 (感じ)」を表し、「2」は日本語の「が」に当たる助詞「이」が数字「2」の綴り・発音と同じであることから、「!2」で「느낌이 (感じが)」を意味させている。「5」は「오는」(動詞오다の現在連体形。なお오다の本来の意味は「来る」)の語幹「오」が数字「5」の綴り・発音と同じであることから、これを「5」で表し、現在連体形語尾「는」は、体言につく日本語の「は」にあたる助詞「는」と同じであることから、これを等号「=」で示して、「5=」で「오는 (来る、ここでは「する」)」を意味させている。「i=」の「i」はこのアルファベットの名称「アイ」が「아이 (子)」の発音と同じであることからきており、「=」は体言につく助詞「는 (は)」を表し、結局「i=」で「아이는 (子は)」を意味させている。さらに、「U」は言うまでもなく英語の“you”で、「너 (君)」を意味しているのである。かくして、「!25=i=U」で「느낌이 오는 아이는 너뿐이다 (感じがする 子は君だけだ)」となる。

さて、上で問題にしておいた「124 1365」の意味は解読されたであろうか。後続の文を読んでもらえば解けたのではないかと思うが、「1日24時間、1年365日」である。したがって、「124 1365 486 486」全体で「1日24時間、1年365日、愛してる、愛してる」となる。(田川光照)

編集後記

初めて編集の仕事を経験しました。委員になった頃は、まだ秋らしさなど感じられない季節でしたが、原稿の締め切り日間近になると、原稿依頼、入稿確認、校正、紙面編集など作業が続き、あつという間に秋が深まっていきました。慣れない作業で、多々不手際もありましたが、皆様の温かいご支援で何とか無事発行にこぎつけました。みるみるうちに原稿が集まったときには、大感激でした。この場を借りて御礼申し上げます。

今号は、ロマンティックな古典の話から今時の元気なお爺さんまで、身近な辞書の使い方から遠い惑星の名の由来まで、大変バラエティに富んだ内容になっていますので、読者の皆様には楽しんでいただけたと思います。気に入ったらお友だちにも薦めてください。私もクリスマスにはできたての語研ニュースを配り歩きたいと思います。

これからも語研ニュースの発展にご協力ください。次回はもっと段取りよく作業にかかりますので、A先生、よろしく願いいたします。(U)